

春の小川の小学校



代々木山谷小学校

令和 8 年 4 月 30 日

5 月号 No2

学 校 便 り

春の小川の集い

副校長 中村 志保

新緑のまぶしい、風薫る季節を迎えました。新年度が始まってひと月が経過とうとしています。今年度も皆様と共に、豊かな教育活動を展開できることを心より嬉しく思っています。今年もこの絆を大切にしながら子供たちの成長を見守っていきたいと思います。

さて、本校は、文部省唱歌「春の小川」にゆかりのある学校として、「春の小川の小学校」とうたっています。それは『春の小川』を作詞した高野辰之氏が明治42年に本校学区域（代々木3丁目、当時は代々幡村）に住み、近くを流れる河骨川（こうほねがわ）を散策して『春の小川』を作詞したことに由来します。

代々木5丁目の「区立はるのおがわコミュニティパーク広場」には『春の小川』を記念した歌碑が建っています。河骨川は渋谷区と港区を流れていた渋谷川の支流の一つで、川の名前は黄色のかわいらしい「コウホネ」が川のほとりに咲くことから名付けられました。コウホネとは、多年草の水草で、小川や池沼に生え、茎は水底の泥の中に横たわり、やや人骨に似ていたことから「皮の骨」と書いて河骨と呼ばれたそうです。東京都では、絶滅危惧種2類に指定されています。現在、区内には野生の河骨は存在しませんが、唯一本校と白根記念博物館、そして、春の小川の湧水源である、浜田さんのご自宅に植えられています。学校の正門には、4年生が学校を代表して当時のコウホネの花を大切に育て続けています。ぜひ、来校の際はご覧ください。

さて、今年度、5月9日（土）学校公開の日に合わせて3校時に「春の小川の集い」が開かれます。子供たちが高野辰之氏の歌を歌い継いだり、自分たちの地域について調べたりして、理解を深め、学んだことを伝えあうことで愛着をもつことができることをねらいとしています。また、5年生がシブヤ未来科で地域のことについて調べたことを発表します。それをもとに、夏の飯山自然体験教室で高野辰之記念館に行き、まとめる予定です。

30日（土）運動会を開催いたします。今年度は全校児童が校庭に一同に会しお互いの競技や演技を見合います。子ども主体の「子ども発」の楽しい運動会にしてまいります。運動会に向けて、子供たちの気持ちを盛り上げ、励ましていただけるよう御協力よろしくお願い申し上げます。

今年度も、子供たちが地域の文化や自然に触れ、豊かな感性を育むことができるよう、教育活動を計画しております。皆様に温かく見守り支えていただきますようお願い申し上げます。

子どもも大人も笑顔あふれる学校づくりに
ご協力をお願いします。

